

～くらしにとけ込む薬箱～

お薬束[®]（おやくそく）新登場！！

滋賀県 令和元年度
新商品生産等による新事業
開拓者認定商品



<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/shigotosangyou/kigyoushou/311087.html>

特許出願
意匠登録出願



まずは動画
をご覧ください



<https://www.youtube.com/watch?v=FuG9zp023r8>

薬を飲む自分と
おやくそく

①薬包をクルクル束ねて

②お薬束[®]に充填

③引っ張るだけ



一包化した薬包を切らずに束ねて、お薬束[®]に入れます。
あとは、開口部から一日分を引っ張りセット完了。使うときは1日分を引き出し、スロープのエッジに沿ってサッと切れば服用ができます。

【特徴】

- ① 約1ヶ月分を切らずに束ねて充填
- ② 置き場所も自由に選べる
- ③ 紙なので手軽で始めやすいコストパフォーマンス

販売元 株式会社 サンポーウェルズ 製造元 株式会社パックス・サワダ

明日を引き出す” お薬束[®] 株式会社 サンポーウェルズ

アドヒアランスって、こうだったのか！？ お薬束®を通じて、見えた正のスパイラル

教えられたのは患者さんから

「どこに置いてありますか？どんなタイミングで飲んでいますか？」と、聞くと以外な反応が返ってきました。患者さんは、よくぞ聞いてくれた！と、言わんばかりに「テーブルがあってね、食事の後にね..。」と、云々..。そして次回「ほれ！空になったよ！」と、誇らしげに飲みきったお薬束を持ってくださる方や、残念そうに「2回のみ忘れた..。」と、来られる方もいらっしゃいました。

このスパイラルは何か？最初は、便利さから始まり、置き場所は自分で決めたので意識が高まる。忘れない事が習慣となる。さらに薬局でやり方を聞かれれば自慢ができ、自分が話した言葉で意志が強まる。次は薬剤師にどう言ってやろうと、来局くださる。これって、アドヒアランス？エンパワメント？ありがたい。薬剤師にとってもいい経験です。自分の質問から広がる行動はやりがいにもつながります。

こんな正のスパイラルの一例ですが、お薬束®にはまだまだお役立ちいただける可能性があります。是非、皆様のところでも貢献できればと、願っております。

特許出願
意匠登録出願

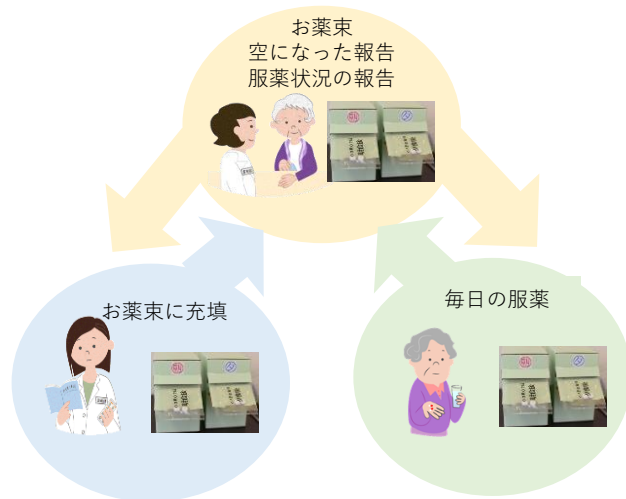
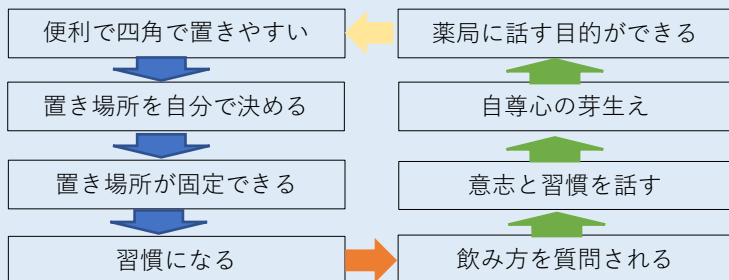


使用例動画



自分で決めれば、意識がめばえ、習慣になる。
聞かれれば、自尊心が湧く。そして、目的になる。

正のスパイラルのイメージ



自分で決めるから、続けられる



自分で決めるから、続けられる 生活にボタンタッチ♪お薬束® (おやくそく)

こんなことはありませんか？

昔は1~2種類の薬を自分でひとつずつ切って薬ケースに入れて管理をしていた。でも歳を重ねると、種類や数も増え一包化にしてもらいようになり、毎回薬袋から取り出し薬包をちぎって飲んでいました。

でも、だんだん袋が小さくなるにつれ、置き場所もバラバラ。テーブルの上だったり、戸棚だったり「あれどこやった？」と、探すことも。。薬の場所が定まらない。壁に掛けるとそこまで取りに行かないといけない。

だから、つい、うっかり飲み忘れてしまうことも、しばしば。。

お薬束®は、一包化した薬をセットして、あとは引っ張って切るだけ。置き場所も、テーブルだったり、戸棚、キッチンなど、生活動線に合わせた設置が可能です。つまり、飲むタイミングも場所も自分で決められます。

服用のために薬の置いてある場所に行く・・・ましてや薬のために生活時間を変えるなんてとんでもない。思いは「薬に縛られないこと」。それがお薬束®です。



使用例動画



食卓テーブルに



リビングに



血圧計の横に



寝室に

設置例

【特徴】

- ①：約1ヶ月分を切らずに束ねて充填
- ②：置き場所も自由に選べる
- ③：紙なので手軽で始めやすいコストパフォーマンス



薬に縛られない 快適な生活を



～ひろがる選択 つながる服薬支援～

あたらしい選択肢 お薬束[®] (おやくそく)

服薬支援の仕方も様々

服薬支援ツールを患者さんに合った最適なツールを選ぶ。しかし、一つのツールを使い続けることが正解なのか？患者さんの状態(ADL/IADL)や管理者の変遷に応じた変化が必要ではないでしょうか？

週間BOXで管理しやすいケースや、カレンダーのほうが見やすく、わかりやすいケースもあります。でも、こんな特徴のお薬束[®]はいかがですか？お薬束[®]は一包ずつ切らずに巻いて入れてセット完了。あとは飲むときに引っ張って切るだけ。場所もとらず選べます。

例えば、移動は難しくなったけれどまだまだ自分で薬を管理したい方には、ベッドの横に置いてご自身で管理されたり、介護の方がお薬を用意する際、サッと取り出せる様に仕事始めの場所に置くのはいかがでしょう？朝夕での飲み残しも二つ並べれば、一目瞭然。次の担当の方にもわかりやすいですね。

ツールの選択肢が広がり、介護の現場でもより良い服薬支援のお手伝いできればと願っています。



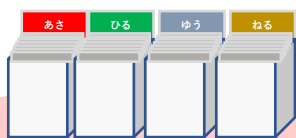
服薬までのお手伝いを、いろんなシーンでお手伝い

お薬ケース

週間BOX

お薬束[®]

薬カレンダー



【ご使用イメージ】

- ① 一包化服用中のアクティブな患者さん
- ② 要支援または介護の方でも手も自由に使い見識がある患者さん
- ③ 介護する方が使用する場合



服薬支援ツールでつなぐ介護の輪



カレンダーやBOXとどう違うの？

最初は安価なグッズを使った手製の品でした。一包化した薬包をグルグル束ねて入れて引き出すだけの箱。それでも患者さんから「ありがとう」と言われたおかげで、このお薬束[®]が誕生しました。お薬カレンダーなら掛けた場所に行かなくちゃいけない。お薬BOXでも1回分毎のセッティングが面倒でイヤ。自分の意志やペースで飲めない。そんな声にお応えしたい。

患者さんの声

- 置き場所が決まり、管理しやすくなった（50代女性）
- 使いやすく薬を飲む意識が高まり薬を残さなくなった。（70代男性）
- 夫の介護として使っています（60代女性）



特徴

- 1：約1ヶ月分を切らずに束ねて充填
- 2：置き場所も自由に選べる
- 3：紙なので手軽で安価、導入しやすい

商品名【お薬束[®]】

*用法シール例

サイズ
2.5cmX7.5cmX12.5cm
材質：紙
色：ライム
*充填包装数は30日分を想定



キャラクター台紙 オプション近日発売→

薬嫌いなお子さんには



こんな使い方は？

食卓に 介護の方に

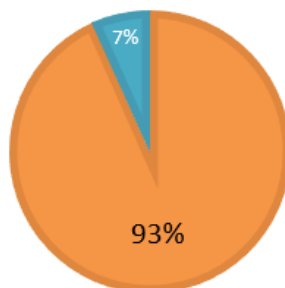
服薬指導に

書斎・仕事場に



これからも使いたいと選ばれています

■はい ■いいえ



選ばれた理由

- ・管理しやすくなった
- ・飲み忘れなくなった
- ・薬を探さなくなった
- ・服用に張り合いが生まれた

試作品も含めお薬束[®]をお使い下さった方に「今後も使いたいですか？」と質問した結果「はい」とお答えいただいた方が93%おられました。(2020年7月現在)

よくあるご質問

Q：紙だとどれくらいの期間使えますか？

A：厚さは1.5mmあります。現在症例数は少ないですが、6か月以上使用されてる方もいらっしゃいます。衛生面の観点からも一定期間での交換をお勧めします。

Q：組み立ては難しいですか？

A：基本薬局での組み立てを想定していますが、2分以内の組み立てができるよう完成しました。

Q：1回にどれくらい収納できますか？

A：基本1ヶ月分30包を想定していますが、薬の大きさや量によっては短期間収納になる可能性があります。

詳しくお知りになりたい方はこちら



https://peraichi.com/landing_pages/view/oyakusoku

*一包化には医師の指示が必要です

商品CD	商品名	定価(税別)	個数	その他
K0005	お薬束 [®] -紙 5個セット	2700円		
K0020	お薬束 [®] -紙 20個セット	10000円		
M0006	ぬりえ台紙 6枚入り	250円		

株式会社サンポーウェルズ（りぼん薬局野洲店）

<http://sampowells.net>

〒520-2331 滋賀県野洲市小篠原2055

TEL：077-586-3501 FAX：077-586-3522

Eメール：oyakusoku@sampowells.net